

顕彰活動のひろがり

近年の総検校塙保己一先生遺徳顕彰会委員による講演（会報誌で紹介したものは除きます）

日 時	場 所	主 催	内 容	講 師
平成 30 年 8 月 9 日	児玉公民館	児玉中央公民館	親子で学ぼう 郷土の偉人 塙保己一	根岸久委員
平成 30 年 6 月 25 日 7 月 2 日	早稲田 リサーチパーク	本庄市 市民総合大学	塙保己一 遺徳顕彰の歩み	長谷川典明 郷 土史研究家
平成 31 年 4 月 25 日	塙保己一記念館 から保木野へ散策	児玉中央公民館	塙保己一 ゆかりの地を巡る	根岸久委員
令和元年 11 月 7 日	埼玉グランドホテ ル本庄	本庄市倫理法人会	塙保己一の生涯	根岸久委員
令和元年 11 月 7 日	保木野龍清寺	塙保己一を講談で 聞く会実行委員会	塙保己一の生涯	根岸久委員
令和元年 11 月 29 日	児玉公民館	埼玉県北部地区校長 研修会	塙保己一に学ぶ	荒井一夫委員
令和元年 12 月 18 日	平成国際大学	加須市シニア いきいき大学	塙保己一 の近代日本への貢献	荒井一夫委員
令和元年 12 月 18 日	埼玉グランドホテ ル本庄	本庄市倫理法人会	塙保己一について	会長 吉田信解

塙保己一旅立ちの朝



龍清寺での講談

顕彰会への加入・継続をお願いいたします。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、平成 19 年 7 月 26 日に市民参加による顕彰会として発足いたしました。顕彰会では、塙先生の遺徳と事績を広く顕彰し、その精神の普及を図ります。毎年、命日の 9 月 12 日に塙先生の遺影に菊の花を捧げる顕彰祭を開催するほか、説明会など各種啓発事業を行っています。

みなさまのご加入・会員継続をお待ちしております。

年会費 個人会員 一口 千円、賛助会員（団体） 一口 一万円

入会と会費納入の受付場所 本庄市役所 4 階生涯学習課と本庄市児玉文化会館（セルディ）、
アスパアこだま内の児玉公民館で受け付けています。

※ 郵便振替でもお申込みいただけます（ご希望の際には、下記へご連絡ください）。



発 行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課 本庄市児玉文化会館（セルディ）内

所在地 〒367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋 7 2 8 - 2

電 話 0 4 9 5 - 7 2 - 8 8 5 1 F A X 0 4 9 5 - 7 2 - 8 8 5 4

そうけんぎょう はなわ ほきいち せんせい いとくけんしょうかい

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第37号

令和2年6月号



第13回塙保己一賞を受賞された皆さん

ごあいさつ

梅雨うっとうしき折から樹々の緑は深くなりました。会員のみなさまもご健勝のことと拝察いたします。

本年は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、市主催の様々な催しが中止となり、市民の皆様には、大変なご苦勞とご心配をおかけしております。発足から今年で14年目を迎える塙保己一先生遺徳顕彰会総会も書面議決とさせていただいたところでございます。

顕彰会では、感染拡大防止を配慮しながら、今後も皆様に明るい話題をお届けできるよう、取り組んでまいります。また来年の没後200年記念事業は、顕彰会だけでなく本庄市においても事業計画がございまして、皆様からの更なるご支援とご協力をお願いいたします。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会
会長 吉田 信 解

令和2年度 顕彰会 総会について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため総会は書面による決議といたします。

審議内容 前年度事業報告・決算報告・
 今年度事業計画案・予算案審議

市民総合大学との連携事業を開催します。

(塙 保己一先生に関する内容で計画中)

※ 詳細については、次号でお知らせします(会員のかたのみ)

令和元年度 顕彰会 事業報告

総 会

5月25日、児玉文化会館セルディを会場に令和元年度顕彰会総会を開催しました。当日は、会の運営についての審議が行われ、承認されました。

総会后、「盲導犬の役割と盲導犬ユーザーの生活」と題した講演が行われ、公益財団法人日本盲導犬協会の職員と、盲導犬ユーザーによる実演が行われました。

総会後の講演



顕 彰 祭



祭壇の前で講談を実演

塙先生の命日である9月12日にセルディで開催されました。遺徳顕彰祭では参加者全員が塙先生の遺影に菊の花を捧げ遺徳を偲びました。講演会では塙保己一が活躍する「奉行と検校」という演目の講談が上演されました。

遺徳顕彰祭では参加者全員が塙先生の遺影に菊の花を捧げ遺徳をしのびました

塙 保 己 一 賞

12月14日、セルディで行われた埼玉県主催・本庄市共催による塙保己一賞への協力を行いました。

当日は、障害がありながら社会的に顕著な活動をしている人や団体など4名が表彰されました。表彰式後には平成30年度の塙保己一賞の奨励賞を受賞した全盲の弁護士、大胡田誠氏とパートナーであるシンガーの大石亜矢子さんによるトーク&コンサートが開催されました。

受賞者へのブロンズ像の贈呈



群書類従の版木を保管する公益社団法人「温故学会」から「塙保己一 ことども」と題した小冊子が刊行されました。温故学会のご協力により、掲載させていただくことになりました。子供からお年寄りまで、読みやすくわかりやすいお話となっております。

塙保己一 ことども

(提供…公益社団法人 温故学会)



理事長 齊藤幸一氏

第七編 塙保己一と太田南畝の交流

おおたなんぼ

保己一と南畝の最初の出会いは、安永三年（一七七四）牛込原町（現、新宿区原町）の恵光寺で行われた宝合（たからあわせ）の会でした。歌の師匠である荻原宗固のすすめにより、江戸で流行していた狂歌を通じてお互いを知ることになります。

宝合の会というのは、本当の宝ではなく持ち合わせたものに、そのものの由来などを学識と機智、さらにユーモアを利かせて皆の前で語りあうという趣向で、保己一は早瀬和布刈（はやとものめかり）という狂名で参加しました。この時、保己一は二八歳、南畝は二五歳でした。

その後、保己一は国学の道を、南畝は漢学の道を歩みますが、二人が収集した文献の貸し借りを通じ親交を深め、さらに目が見えない保己一のために南畝は多くの書物を読んでもくれました。南畝の著書『一話一言』には、保己一から学んだことが克明に記されています。

また『万載狂歌集』には、保己一作が一首載っています。

おらんにさう言ひんすよ過ぎんすよ酔なんしたらたおきんせん

かもろ

吉原の遊女に従う禿が客の深酒をたしなめるという歌です。ひょっとしたら保己一もこんな場面に遭遇したのかも知れません。

番町で目あき目くらに道を聞き

番町に過ぎたるものは二つあり 佐野の桜に塙校校

江戸で流行した狂歌ですが、これも南畝の作と思われます。

下記の2か所も修繕が終わっています。



高関地内看板



八幡山地内看板

国道254号線 美里境の啓発看板の修繕が終了



秋山地内看板

本庄市が管理する塙保己一の啓発看板がきれいになりました。児玉のカインズホーム近くの国道254号線沿いの看板と高関地内に続いて三か所目です。